

もっと知って欲しい！
魅力ある農業のこと。
JAのこと。

2022 12
vol.333

あとれ



当尾ごぼうは香りが違う

木津川市 大西 恒夫さん (74)

奈良県との県境木津川市の東南部に位置する当尾地区は、「石仏の里」として知られており、岩船寺や浄瑠璃寺の道沿いには石仏や石塔が点在しています。

そんな、当尾地区の特産品のゴボウを生産する当尾牛蒡部会の大西恒夫部会長にお話を伺いました。

.....

当尾ごぼう

当尾ごぼうについて、恒夫さんは「太くて柔らかいのが特徴です。また、食べた時に感じる香りの高さも人気です」と紹介します。調理中から漂う香りが好きだといいます。

当尾牛蒡部会には、現在10軒の生産農家が所属しています。



新しい畑での栽培

3年前から5軒の生産者が新しい畑でのゴボウ生産を始めました。この畑はもともと木が生い茂る山だったのですが、近くに拠点を持つ産廃業者が埋め立てのためにその山を削り拓いてできた土地です。

「当尾の土は雲母が入っていてゴボウの栽培に適しています」と話す恒夫さん。もともと、当尾の土質はゴボウの栽培に適しており山が切り開

かれたことで、作業しやすい平場の畑に変身しました。

この新しい畑では、当尾牛蒡部会の5軒がゴボウを栽培しています。広い畑なので、部会員のほかにもキュウリや大根などのさまざまな野菜を育てる生産者がいます。

栽培の苦勞

ゴボウは連作を嫌うので、5年に1度のペースで畑を変えます。収穫前に葉を全て切り落とすの



販売計画を部会で確認

ですが、畑に残したまま土に還ると連作障害の原因になるので全て取り除きます。

恒夫さんは「最近は土壤消毒の技術が発達しましたが、基本的にゴボウの葉や間引いたゴボウ、収穫時に折れたものも畑には残しません。不安要素を取り除くため、土の管理にはとても気を使います」と土壤管理の大変さを話します。

以前は、手作業でゴボウを掘り起こしていましたが、現在はシヨベル

カーでゴボウの横の土を掘るので収穫作業の省力化が進んでいます。最後は、機械で掘った溝に生産者が入って1本ずつ手作業で収穫します。

また、出荷調整にあたっては部会でひげ取り機械を導入したことで大きな作業時間の短縮につながったといいます。

今後の展望

「昔は手作業で収穫をしていましたが、今は機械を使うので1人あたりの作付け面積は増えていきます。部会員の減少もありますが、総生産量はむしろ増えています」と話す恒夫さん。

今年も楽しみに待っている地元の方や消費者の皆さんに香りが良い最高のごぼうを部会から届けたいと意気込みます。

支店からの一言

大西恒夫さんは当尾牛蒡部会の部会長として部会のとりまとめ、また生産者として質の高いゴボウ作りに頑張っておられます。今後も香り高い最高の当尾ごぼうを生産されることを期待しています。

加茂支店
支店長 北本 貴亮



溝に入って収穫する

TOPIC YAMASHIRO

やましろ地域農業振興にむけて取り組んでいます

総代懇談会を各地で開催

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



当JAの今年度上期の事業内容報告と総代を通じて組合員の皆さんの声をJA運営に反映させるため、11月17日、18日、21日の3日間にかけて11基幹支店で第55回支店別総代懇談会を開催しました。

第55回 総代懇談会
京都やましろ農業協同組合



多くの意見をいただいた懇談会

同懇談会では、本年度上期の事業概況として、将来にわたり盤石な経営基盤の確立を図るため今年度から「第9次中期3カ年計画」と「第3次やましろ農業チャレンジプラン」の実践に取り組んでいることを説明しました。また、山城地域の水稲の作況指数が101となったことに加え、宇治茶の販売高がコロナ禍以前の34億円まで回復するなど明るい兆しが見えていると報告しました。出席した総代からは、たくさんの方の意見・要望が寄せられました。各会場でお寄せいただきました意見・要望につきまして、理事会で協議・検討したうえでJA運営に反映させてまいります。

また、今年7月の総代改選を受けて10月26日には総代研修会を開催し、総代の役割やJAの事業内容について理解を深めました。

広がる良食味米生産

12 つくる責任
つかう責任



11月9日、山城産米改善推進本部(事務局・JA京都やましろ)は「第4回山城産米食味コンテスト」の審査会を開催し、吉岡弘能さん(京田辺市)を最優秀賞に選んだほか、入賞者7人を決定しました。

昨年山城産ヒノヒカリが悲願の「特A」産地を獲得したことで、良食味米生産の気運が高まっております。コンテストには58点の応募がありました。1次審査では食味計、穀粒判別機等の機械審査を実施。2次審査では、(社)日本穀物検定協会お米アドバイザーなどによる外観、実食審査を行いました。

本コンテストは、消費者ニーズに応える良食味米生産に対する生産者の意識醸成と生産技術の向上・普及を図るため京都府や山城地域の市町村、JAで構成する山城産米改善推進本部が実施しています。

そのほかの入賞者は次の通り。

▽優秀賞

辻典彦(八幡市)、松井雅彦(京田辺市)、西川幸次(同)、

▽優良賞

栗田丈寛(同)、堀口善弘(同)、吉川勲(同)、宮本哲生(木津川市)、

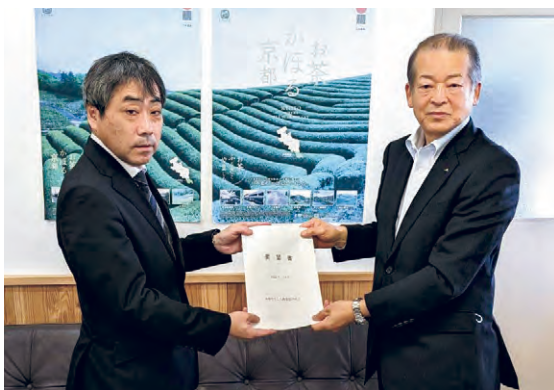


厳正に行った審査

行政に農業振興の要望

18日、十川洋美組合長は京都府山城広域振興局(宇治市)を訪れて稲垣勝彦局長に「山城地域における農業振興について」の要望書を提出しました。

当JAでは、今年度から管内の計画的な農業振興をめざす「第3次やましろ農業チャレンジプラン」の実践に取り組んでいます。山城地域の農業は、大型担い手による法人化がすすむ一方で、家族農業者を中心に高齢化の進行によって農家人



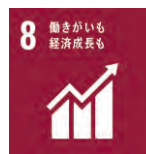
要望書を持つ十川組合長(右)と稲垣局長

口の減少と不耕作地の拡大が進み、地域農業は大きな転換点を迎えています。このような状況を踏まえ、当JAでは今後はより行政との連携を強化し、官民一体となつて地域農業振興に取り組むことが重要と考え、要望書を提出しました。

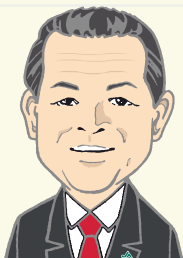
提出した要望書には①担い手確保対策の強化支援についで②有機茶生産も含めたみどりの食料システム戦略にかかわる有機農業の振興支援について③米の安定供給対策についてなど、14項目を盛り込んでいます。

要望書を受け取った稲垣局長は「持続的な農業を推進していくため、しっかりと連携し、取り組んでまいりたい」と応えました。

このほかにも、各地の運営協議会を通じて地域の状況を踏まえた農業振興の要望を伝えてまいります。



組合長つうしん



2022.12
代表理事組合長
とがわひろよし
十川洋美

近年、農業と福祉の分野が連携して障害者が農業分野で働く場をつくる「農福連携」の取り組みが拡大してきています。全国の37%のJAでも何らかの取り組みをすすめており、当JAでも11月に管内の福祉関係者等に呼びかけ、推進にむけたシンポジウムを開きました。

現在、国内の障害者数は964.7万人、人口の約7.6%にもおよび、増加傾向にあります。障害者の就業率は40.3%で、障害の度合にもよりますが、残る過半は身の丈に合った仕事に就きたいと望んでいます。

障害者就労施設でも約3割が農業活動を取り入れており、農作業で楽しんだり就労したりと近年農業が注目をされています。当JA本店のすぐ近くで聴覚障害者の就労支援を中心に「さんさん山城」が頑張っている活動しています。生産諸資材をJAから購入をし、JAの茄子塾やえびいも塾で生産技術を学び、収穫物はJAや直売所にも

出荷をしています。さらには、六次化でお菓子等の加工やカフェを運営したりと幅広く、働く障害者の皆さんが生き生きと活動をされており、農福連携に果たすJAの役割にも大きなものがあることを教えられました。

農業で障害者が働くことで、収入も得られますが、精神的にも身体的にも大きな効果が得られるという調査結果もあります。一方、高齢化で担い手不足の農業にとって、労働力不足を補う点では大切な担い手確保のひとつです。

全国の事例を見てもJAが、障害者就労施設等に農地確保の協力をしたり、農繁期の農作業を障害者就労施設に委託をしたり、障害者にも農業就業を可能とする作業内容の分解等をした上でマッチングしたりと農業者にも障害者にもwin-win 互恵の関係をつくり出しています。

障害者の皆さんが社会で共生していくためには、職業を通じた社会参画が最も重要です。就労・社会参加の場づくりとしての農福連携は、同じ地域に住む人同士が仕事を通じてつながれる、今後発展させなければならない、かけがえのない取り組みです。

JAは、地域コミュニティの中で、食と農を基軸に地域とのつながりを活かし、積極的に行政や各種団体など多様な組織と連携を強め、豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現をめざそうとしています。今こそ農福連携にJAの果たす役割発揮が求められています。



地域のお話

農作業の効率化を提案

11月15日と16日の2日間、管内の2会場(宇治市管内・精華町管内)で農業用機械の実演会を開催しました。

会場では、農作業の効率化・省力化の提案としてリモコンで操作する草刈機など最新の技術を紹介し、注目を集めました。



注目を集めた最新の草刈機

農福連携推進シンポジウム

11月16日、文化パーク城陽で農福連携の推進に関するシンポジウムを開催しました。

農福連携事業を展開する「(福)さんさん山城」「(福)よさのうみ福祉会」「(福)宇治田原むく福祉会」による取り組み報告、東海大学の濱田健司教授による基調講演、京都府(きょうと)農福連携センター)、京都府社会福祉法人経営者協議会、(福)さんさん山城、当JAによるパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

やましろのつどい

10月29日、文化パーク城陽でやましろのつどい「神野美伽&長山洋子コンサート」を開催しました。

昼の部と夕方の部あわせて約1,300人がお二人の歌を楽しみました。

たくさんの方にご来場をいただきありがとうございました。



盛り上がったステージ



優勝した八幡市Aチーム

グラウンドゴルフ大会で優勝

10月25日、京都府年金友の会グラウンドゴルフ大会が城陽市のサンガタウン城陽で開催され、当JAの八幡市Aチームが優勝しました。

大会には府内5JAの予選を勝ち抜いた18チームが参加しました。当JAからは3チームが出場し、宇治田原町Aチームも3位入賞するなど健闘しました。

ゲートボール大会

11月4日、京田辺市老人福祉センター常磐苑で第26回年金友の会ゲートボール大会を開催しました。

12チームが熱戦を繰り広げ、京田辺Bチームが優勝しました。

上位入賞チームは次の通り。

2位：城陽Bチーム

3位：精華町チーム



狙いをすました一打

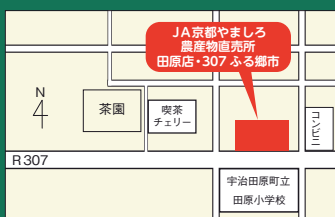


『抹濃』商品を提供するお店を紹介！

JA京都やましろ農産物直売所田原店・307ふる郷市

JA農産物直売所田原店・307ふる郷市では地元新鮮野菜のほか、加工食品や茶、工芸品などを販売しています。

同店では、直売所スタッフが宇治田原町産食材を使って手作りの米粉のシフォンケーキが人気です。このケーキは生地に抹濃を使用しており、生クリームと季節の果物をサンドしてアレンジしたものもあってバリエーションが豊富です。



所在地 ● 宇治田原町郷之口中林12
 営業時間 ● 9時半～16時半
 営業日 ● 年中無休(年末年始・特休日除く)
 連絡先 ● 0774-88-2629

※シフォンケーキのご予約承っています。
 詳しくは、店内スタッフにお声かけください。



商品は日替わりですので、
 いろいろな季節の味を
 楽しんでみてください。

サークル発表会に向けて

J A 京都やましろ女性部は12月6日に山城総合文化センター（アスパアやましろ）で「第25回家の光文化のつどい & サークル発表会」を開催します。開催にあたり、各支部では舞台発表の練習や会場で展示する作品作りなどを行っています。

宇治支部では舞台発表する「レインボー体操」の練習に取り組み、帽子を使った振付をメンバーが確認しました。また、会場展示に向けてはメンバーが木綿布を持ち寄って『家の光』記事を活用して「みつろうラップ」を作りました。みつろうラップは繰り返し使用できるエコなアイテムとして注目されています。



振り付けの確認



みつろうをアイロンでとくす

京田辺支部では、牛乳パックを活用したイス作りを行いました。材料となる牛乳パックは部員らが飲み終わったものを集めて使用しました。設計図に沿って牛乳パックをつなぎ合わせ、完成させました。メンバーは「半分の高さにした方が正座するとき使いやすい」など気付いたことを教え合いながら作品作りを行いました。



たくさんの牛乳パックを組み合わせで作る

紅葉を探しに「歩こう会」

紅葉の季節となりました。精華町支部は11月10日に流れ橋（八幡市）へ、加茂支部は11月11日にけいはんな記念公園（精華町）の水景園・観月楼へそれぞれ「歩こう会」に出かけました。

部員らは秋晴れの中、おしゃべりと紅葉を楽しみました。精華町支部の南八重子支部長は「皆さんおしゃべりに花が咲き、あちらこちらから笑い声が聞こえて若き日の女子会のようでした」と話しました。



精華町支部



加茂支部

家の光 12月号 今月の読みどころ

今月の読みどころはp20～p37「あなたのお悩みスッキリ解決!」です。

膝の痛みや頬のたるみ、高齢の親、スマホ依存など人には言えない心のモヤモヤをそれぞれの専門家がズバリ答えます!

12月号 (定価 1,027 円)



ウォーキングの正しい姿勢を学ぶ

10月27日、女性大学第2回講座「ウォーキングを習って楽しく歩こう♪プチハイキング」を開催しました。

受講生の11人は、NPO法人京都府ウォーキング協会の福島勝さん、山田郁子さんから正しい姿勢での歩き方、靴の選び方・履き方を教わりました。

講師から正しい姿勢で歩く



正しい靴の履き方を学ぶ

ことだけがの予防やパフォーマンスの向上につながるなど説明を受けた後、時代劇の撮影場所として有名な上津屋橋（流れ橋）までプチハイキングに出かけて教わった内容を実践しました。

受講生は「普段は買い物でも車を使っているので歩く機会が減っていましたが、久しぶりにしっかりと歩きました。涼しい時期なので、すがすがしい気分になりました」と話し、楽しみました。



正しい姿勢でウォーキング



撮影：JA 京都やましろ

おいしく食べよう!

今月は…
当尾ごぼうの春巻き

〈女性部加茂支部のレシピから〉

材料（4人分）

当尾ごぼう	300g
ミックスチーズ	200g
春巻きの皮	12枚
片栗粉	大さじ4
ごま油	大さじ4
酢水	適量
サラダ油	適量
A	
砂糖	大さじ2
しょう油	大さじ2
酢	大さじ2
みりん	大さじ2

作り方

- 1 当尾ごぼうを7cmの長さにカットして縦半分に切り、酢水に10分ほどさらしてアクを抜く。
- 2 ①の水気を切って、片栗粉をまんべんなくまぶす。
- 3 ボウルにAを入れてよく混ぜる。
- 4 フライパンを中火で熱し、ごま油をひいて②を入れて焼く。焼き色が付いたら③を入れて中火のまま炒め合わせる。
- 5 冷めた④とチーズを春巻きの皮で包み、少ない油で揚げ焼きにする。

げんきっ子 あつまや〜!

城陽市

なかむら

中村

おうせい

凰誠さん(12歳)



「中学生でも レギュラーめざしてがんばるぞ」

小学3年生の時にサッカーをはじめました。友達がサッカーをしている様子を見て楽しそうだったので僕もやってみたいと思いました。

チームでは、左サイドハーフとしてオフフェンスとディフェンスの両方

で貢献しています。得点を決めた時の達成感はサッカーの一番おもしろいところです。

中学生になってもサッカーを頑張りたいと思うているので、普段から基礎を大切にすることを意識して練習に取り組んでいます。

中学生でもレギュラーメンバーとして活躍できるようにこれからもがんばります。

元気なお子さん大募集!

現在がんばって何かに取り組んでいるお子さんを募集しています。ご登場いただける方は、15ページの宛先までご連絡ください。

(自薦・他薦を問いません)



大会を終えて笑顔のチームメイト

くらしと税金



「インボイス制度の特例措置」

ボイス発行事業者でなくとも、買手は卸売市場が発行する書類により仕入税額控除が可能。ただし、J A 卸売市場は卸売市場法に規定する「卸売市場」ではないため、対象外となります。

② J A 等に販売を委託する場合(農協特例)：組合員の農産物を J A が無条件委託方式による販売をし、その代金を共同計算方式により精算する場合、売手がインボイス発行事業者でなくとも買手は J A が発行する書類により仕入税額控除が可能。

③ 農産物直売所で委託販売する場合(媒介者交付特例)：売手がインボイス発行事業者の場合、J A が出荷者に代わりインボイスを交付できます。

J A では組合員の皆さんに同制度の内容を理解し、対応を検討していただくために J A 卸売市場の対応などが決まり次第お知らせします。



研修会の様子

2023年10月から導入されるインボイス制度について、農産物出荷の特例措置要件が今年8月に示されたことを受け、組合員に各農家の出荷形態に応じてインボイス発行事業者になるか否かの判断材料にもらうことを目的に研修会を実施しました。当日は次の3つの特例を紹介しました。

① 卸売市場に出荷する場合(卸売市場特例)：売手がイン

キラリ★マイライフ

京田辺市

ふじもと おさむ

藤本 修さん(80)



大きく育ったスイカ

『新品種に挑戦』

種が小さくそのまま食べられるスイカを育てました。以前からスイカは育てていましたが、食べやすさを重視して新しい品種の栽培に挑戦しました。いざ収穫したスイカを食べてみると、確かに小さな種でそのまま食べてしまえたのでスイカを食べた家族や親せきからは好評でした。

このスイカを育てようと思ったきっかけは、種苗会社で働いていた経験もあって新しい品種やめずらしい品種の野菜栽培に興味があったからです。

本格的に農業をはじめたのは定年後ですが、過去に京田辺市の品評会で入賞したこともあってそのことが今日までの励みになっています。

これからも、いろいろな種類の野菜を育ててみたいです。



京都やましろ地域で活動する農福連携取り組み団体を紹介

「さんさん山城」とは

聴覚障害者の就労を支援する場(就労継続支援B型)として、2011年4月に開所しました。

現在は聴覚障害者の他に精神障害者や知的障害者など、毎日20人の利用者が、農業、食品・菓子加工、カフェ、縫製・工作、販売などの作業を行っています。

人と人のつながりを大切に、「地域に根ざした事業所」をめざし活動しています。

「さんさん山城」の農福連携

さんさん山城の農福連携には当JAも参加しています。

京田辺市を拠点とするさんさん山城は農業に関する知識や技術の習得をめざし、市内の生産者組織が中心となり当JAや市、府が連携して開催するナスやえびいもなどの「農家養成塾」に参加しています。

また、これらの塾での学びを活かして生産したナスは「京都田辺茄子」としてJA茄子選果場を通して出荷しています。



DATA

社会福祉法人
京都聴覚言語障害者福祉協会
就労継続支援B型
山城就労支援事業所「さんさん山城」
〒610-0322
京都府京田辺市興戸小モ詰18-1
TEL:0774-39-7113
FAX:0774-65-4102



第11回 ジェイコン 開催!

募集人数	独身の男女各15人程度
参加資格	男性:当JA管内の組合員または組合員家族 女性:居住地は問いません
年齢	男女とも20~45歳くらいまで
参加費	男性1,500円 女性1,000円
応募締切	12月7日(水) ※定員になり次第締め切ります。
応募方法	E-mailまたは電話にて受付
内容	グループでクイズ&ゲーム、フリータイム 自己紹介タイムもあります!

農業に興味のある
女性大歓迎!!

日時

2022年
12月17日(土)
午後1時~5時(予定)

会場

JA京都やましろ本店
京都府京田辺市田辺鳥本1-2

登録制ジェイコン ご登録受け付け中

登録条件

20歳から概ね45歳の独身男女(初婚・再婚は問いません)
男性…当JA管内の組合員または組合員家族
女性…山城地域の男性と結婚する意思のある方

担当者が顔を合わせてサポートするから安心!

登録時の面談やお見合いには担当者が顔を合わせてお話しします。

登録料・紹介料・成婚料が無料!

ただし、お見合時の食事代や郵送料等をご負担いただきます。

お申込・お問い合わせ先
JA京都やましろ 本店 総合企画部 ふれあい課

TEL 0774-62-1200
E-mail s-hureai@ja-yamasiro.com

直売所 イベント情報

五里五里市 ☎0774-53-0072

3日、J Aまつり城陽を開催します! 17日からは年末大売り出し! 5日、15日はポイント2倍デー! 年内は30日15時まで営業!

四季彩館 ☎075-983-8181

10日、餅つき大会を開催。19日~29日は年末売出フェア! 22日、23日は先着100人にポット苗をプレゼント! 年内は30日正午まで営業!

にこにこ市 ☎0774-63-6677

17日からは年末フェアを開催。しめ縄などのお正月用品やスプレー菊、小菊等を販売します。年内は30日正午まで営業!

なごやか市 ☎0774-82-2046

地元産ミカンを販売中! 17日、年末感謝フェアを開催。1,000円以上お買い上げで粗品を進呈。18日~30日は年末フェアで、お正月用品などを販売。年内は30日正午まで営業!

307ふる郷市・宇治茶の郷 ☎0774-88-2629

17日、18日はフェア! 1,000円お買い上げごとにガラポン抽選1回。ほうじ茶1kgをサブプライズ価格で販売。古老柿、お正月用品も販売。年内は30日15時まで営業!

グリーンマーケット精華 ☎0774-94-5698

愛菜館 ☎0774-72-5459

24日、精華町支店年末大売り出し! 25日~29日はお花の売り出し。年内は29日正午まで営業!

花野果市 ☎0774-72-0080

25日~29日、年末フェア! お楽しみプレゼントやほうじ茶のお得用袋を販売。年内は30日正午まで営業!

京たけのこ部会 部会員募集



JAでは、さらなるブランド力、販売力の強化などをめざして2016年12月に京たけのこ部会を設立しました。現在、八幡市、京田辺市、井手町、木津川市の部会員が首都圏出荷に取り組んでいます。

同部会では、さらに出荷量を増やすため、部会員を募集しています。

詳細については、支店の営農経済窓口までお問い合わせください。

主な栽培要件

- ①土入れの実施 ②有機質肥料の施肥



販売実績(過去5年分) 秀2Kの平均単価

1,048円/kg(2018)

1,318円/kg(2019)

1,122円/kg(2020)

1,224円/kg(2021)

1,468円/kg(2022)



「あなたの声を聴かせてください」運動の主な内容

「あなたの声を聴かせてください」運動を通じて組合員や利用者の皆さんのさまざまなご意見・ご要望をいただき、事業運営に反映させていただきます。

米の『検査格付結果通知票』で品質のところが『こだわり米』を出荷しているのに、『①特裁契約米』と表示されていて紛らわしいです。『こだわり米』と表示されるように変更できないのですか。



京都府下統一のシステムを活用しており、品質の名称を変更する場合は、全農および他JAと

の調整が必要となります。令和5年産につきまちは、『こだわり米』『特別栽培米』と表示できるよう、調整をすすめてまいりますので、ご理解賜いますようお願いいたします。

年金誕生日プレゼントの赤飯を販売してもらえませんかでしょうか。



いつもJAで年金をお受け取りいただきありがとうございます。お誕生日プレゼントの赤飯につきまちは、年金受給者の皆様のため、特別に山城産米で赤飯をご用意しており、非売品となりますのでご了承ください。



JAの近況

	2022年10月末	2021年10月末
組合員数	30,961人	31,426人
第1号組合員	13,447人	13,525人
第3号組合員	17,514人	17,901人
貯金残高	3,517億2,259万円	3,550億3,318万円
貸出金残高	571億4,636万円	501億1,916万円
長期共済保有高	6,400億5,058万円	6,607億2,516万円
販売品取扱高	48億2,606万円	42億9,531万円
購買品供給高	16億3,372万円	17億8,329万円

理事会報告

(2022年10月31日開催)

(協議事項)

- 2022年度上期決算について、協議の結果適正であるとして承認しました。
- 役員改選にともなう第11期役員候補者の選出について協議決定しました。

(報告事項)

- 2022年度上期取組結果および下期取組事項について報告を受けました。
- 役員を対象としたコンプライアンス研修会の実施について報告を受けました。

12月の各種無料相談日など

相談日は変更になる場合がございます

予約制



- 予約制です。各開催日の1週間前までに支店備え付けの申込書にご記入のうえ、窓口でお申し込みください。
- 定員になり次第締め切らせていただきます。お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。

税務相談

市原会計事務所

山城支店	8日(木) 午前
京田辺支店	8日(木) 午後
宇治田原町支店	13日(火) 午後
城陽支店	14日(水) 午前
井手町支店	14日(水) 午後
久御山町支店	21日(水) 午前
八幡市支店	21日(水) 午後

黒木正税理士

中宇治支店	14日(水)
加茂・和束町支店	20日(火) 午前 (会場:加茂支店)
南山城村支店	20日(火) 午後
精華町支店	21日(水) 午前
木津支店	21日(水) 午後

法律相談

中川泰臣弁護士

7日(水) 9:00～本店
(午前中)

近畿合同法律事務所所属弁護士

28日(水) 9:00～本店
(午前中)

年金相談会

精華町支店 9日(金)
13:00～
(先着3組)

城陽支店 24日(土)
10:00～
(先着3組)

お困りごとはまず、JA 総合相談窓口へ

JAは総合事業の強みを活かして、皆様のお困りごとの解決に向けてお手伝いする総合相談窓口を各支店に設置しています。まずは、JA各支店にご相談ください。

お知らせ

「やましろの四季カレンダー」が完成！



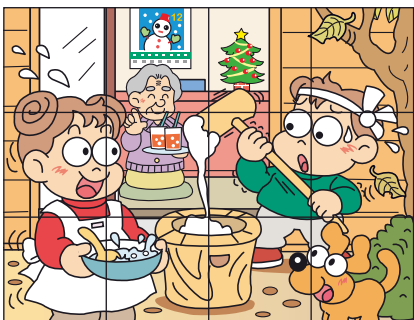
季節の風景が楽しめる

山城地域の農作業や風景・行事など四季を感じられる作品をテーマにJAが実施しているフォトコンテストの入賞作品を毎月紹介します。

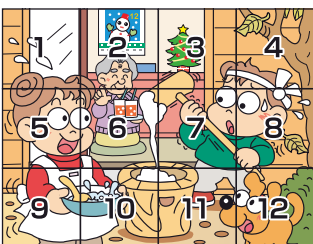
紙資源を大切に

持続可能な社会をめざすSDGsの観点から紙資源の有効活用を図るため、カレンダーサイズを見直しました。

これまでのものと比較して余白を減らしたことで、紙の使用量を削減しました。



正解者の中から抽選で10名の方に「図書カード500円分」をお送りします。



下のイラストには上のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左の枠内の数字で探してください。

前回の答え「2,3,5,6,12」でした。

応募締切は
12月15日です

第26回

やましろの四季

フォトコンテスト
入選作品のご紹介

パシヤ



佳良賞

「古老柿ころころ」

吉川 道男さん
撮影場所・宇治田原町



おたより

食欲の秋、味覚の秋は大
好きな柿など楽しみがいっ
ぱいです。「おいしく食べよ
う！」コーナーの秋ナスの中
華風炒めを作りました。お
いしかったです。またひとつ
料理のレパートリーが増え
ました。

宇治市 池本順子さん

この頃、地球温暖化で気温
が40℃になっているのに彼岸
花はきちんとお彼岸に咲き
ます。毎年花を見る度に「え
らいなあ、お彼岸が分かるの
ね」と思っています。すごく
正確な体内時計をもっている
のかな。田んぼの黄金の稲穂
とあぜ道に咲いた彼岸花の
景色が私は大好きです。今
年も稲刈りを頑張ります。

精華町 杉島茂子さん

今年も主人の妹さんから
栗をいただき栗おこわを作

りました。蒸し上がり待つ
時間の栗の香りも楽しみ
ひとつです。

木津川市 白山知子さん

やっと朝夕が涼しくなっ
てきました。田んぼの土手に彼
岸花がきれいに咲いていま
す。真っ赤で「私を見て」と
言っているようです。

和束町 稲垣マチ子さん

今年も白の彼岸花が見事
に咲きました。花言葉は「ま
た会う日を楽しみに」だそう
です。私もその日まで精一杯
がんばろう！

井手町 近藤明子さん

おたよりコーナーを讀ん
でいて知っている人の記事が
あった時、元気に頑張ってお
られる様子が分かって良かつ
たと思います。自分もそれな
りに頑張らなくてはと毎月

楽しみにしています。

木津川市 岡本参仁さん

久しぶりにサツマイモ栽培
で安納芋を植えました。収穫
できる日が待ち遠しいです。

精華町 森栄かよ子さん

暑い日がつづいています
が、暦のうえではもう10月
になります。稲の穂もたれさ
がって今年も豊作のよう
です。台風が来ないように願
っています。

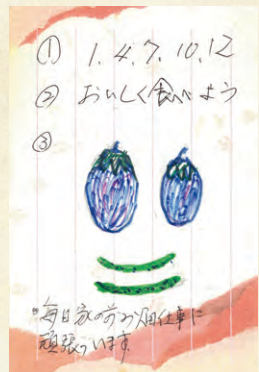
久御山町 石川友子さん



宇治田原町 西出照子さん



宇治市 小山悦子さん



木津川市 木村セツ子さん



木津川市 吉村玲那さん



宇治市 佐原大誠さん



精華町 清水美鈴さん

クイズの答え・お便り・イラストなどはこちらまで

(敬称略)

※お寄せいただきましたお便り、eメールの個人情報につきましては、おたよりコーナーの目的以外には、使用いたしません。

当選者発表

(331号)

- | | | | |
|------|---------|--------|-------|
| 城陽市 | 山寺久子 | 寺苗子 | 久苗子 |
| 久御山町 | 向井早子 | 内泰子 | 早泰子 |
| 八幡市 | 飯内井田夏須子 | 白津村山道子 | 井田山道子 |
| 京田辺市 | 京手町 | 井手町 | 手町 |
| 宇治原町 | 宇治原町 | 宇治原町 | 宇治原町 |
| 精華町 | 精華町 | 精華町 | 精華町 |

610-0331 京田辺市田辺鳥本1の2
JA京都やましろ
ふれあい課宛
あなたの住所
氏名

- ①クイズの答え
- ②関心を持って
読んだ記事
- ③お便り・イラスト・
写真など
おたよりコーナーなど
で紹介する場合があります。
(ハガキ裏面)

表紙写真

最盛期を迎えるえびいもの収穫。
一株ずつ丁寧に掘り起こします。

編集後記

今年もたくさんの方を取材させていた
きました。
皆さん良いお年をお迎えください。(も)

✉ eメールアドレス: atore@ja-yamasiro.com

2023年春用肥料・農薬予約注文のご案内

～肥料価格高騰対策支援金の申請も支援します～

2023年春用肥料・農薬の予約注文を実施します。別冊「2023年春用肥料・農薬申込書」でお申込みください。

一部商品では、**予約注文特別価格**を設定していますので、ぜひご利用ください。

JAで肥料をご購入いただきますと、国が化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費増加分を支援する**肥料価格高騰対策事業**への申請も支援します。



申込締切日 2023年1月20日(金)

「2023年春用肥料・農薬予約申込書」でお申込ください。詳しくは、支店経済担当者まで

肥料価格高騰対策事業について

申請方法

○「化学肥料低減計画書」をJAに提出

化学肥料低減に向けた取組に**2つ以上**取り組むこと（うち1つは、新規取組または既存取組の拡大・強化）。

有機栽培、特別栽培等すでに化学肥料低減に取り組まれている場合は、これまで**同様の取組**で対象。

申請に必要な「化学肥料低減計画書」などの様式や事業案内は京都府のHP（二次元コード）からダウンロードできます。

事業に関する情報はこちらから。



支援の内容

化学肥料低減の取組を行った上で前年度から増加した肥料費について、その**7割**が支援金として交付されます。

JAでご購入いただいた2022年秋肥・2023年春肥は、
国の肥料価格高騰対策事業の対象です。
お配りしている「化学肥料低減計画書」をJAにご提出ください。
JAがとりまとめて一括申請します。

春肥のお申込・申請に関するお問い合わせは、お近くのJA支店まで



<https://ja-yamasiro.com> <http://uji-cha.kyoto> <http://ja-yamasironomegumi.com>
e-mail atore@ja-yamasiro.com

Copyright© 2011 Kyoto Yamashiro Agricultural Cooperative All Right Reserved.

